

令和5年度予算の概要

令和5年度は、将来構想策定会議のビジョンを遂行していくための事業および創立100周年へとつながる取り組みを推進することを基本としました。

事業計画は、新型コロナウイルス感染が終息傾向となり、アフターコロナの環境変化にも迅速に対応しながら、財務基盤確立に向けた資金投入となることから、実施事業の検証及び収支計画を確認した上で、中長期計画における事業実施の意義を明らかにし、経営戦略上、必要不可欠、優先度、緊急性のある案件に限定し、学校法人全体の単年度収支を勘案して実施判断する予算措置を行いました。

予算編成方針は、事業活動収支差額黒字に向けて教育活動収支の均衡、経常収支黒字編成とし、予算編成及び収支改善に全学全教職員連携して取り組むこととしました。

以下、理事会・評議員会にて承認されました令和5年度の事業計画予算および事業活動収支予算について概要をご報告します。

[事業計画]

教育、研究、診療の環境整備に関することにおいては、(1)教育活動充実のための環境整備(全19事業)①御井学舎事務部学務システム更新②医学部看護学科新校舎建築工事③附設高中校校内ネットワークの更新およびWi-Fi環境の整備(全館)他。(2)研究活動充実のための環境整備(3)診療活動充実のための環境整備(全7事業)①大学病院・医療センター医療機器更新②治験におけるリモートSDVシステムの導入他。(4)省エネ対策および施設設備の適正な維持管理に係る改修事業

以上、事業計画に係る予算総額は45億3千万円となりました。

[事業活動収支予算の状況]

事業活動収入計の628億1千9百万円から、事業活動支出計の627億1千1百万円を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は、1億8百万円となります。経常収支差額は9千7百万円となり、令和4年度予算比9千5百万円増となります。

収入では、新型コロナウイルス感染症が終息傾向を見せていることもあり、年間を通じた医療体制提供取り組み等による医療収入増を見込んでいます。支出では、既存予算の実績確認見直しと不要不急の支出削減を行い、本業である教育活動収支改善を念頭に編成した予算としました。基本金組入額は、事業計画に基づき30億6千万円としました。

今後も常に状況の変化に対応しつつ、教育・研究・医療のさらなる充実を目指して安定した財務基盤の確立に取り組んでいきます。